
3.再整備のコンセプト及び取組み方針

3-1.再整備の取組み方針

これまでに整理した問題点と課題に対応する再整備に係る取組み方針について、検討を行った。

竜田川にまつわる歴史や知名度などを活かし、モミジ・サクラを基調として、かつてにぎわった景観の再生や魅力づくりを行うことで、地域のシンボル・観光名所の一つとなる公園を目指して、再整備に係るコンセプト及び取組み方針を以下のとおり設定した。

なお、基本計画と検討を行ううえでは、竜田川及び公園の歴史と地域の気候・風土・文化を踏まえるとともに、対象となる植物の科学的・生理的な検証を行いながら計画検討を行うものとする。

(1) 再整備のコンセプト

『竜田のモミジ・サクラの景観再生と

公園の安全性・快適性の確保』

竜田川にまつわる歴史や知名度などを活かし、モミジ・サクラを基調として、かつてにぎわった景観の再生や魅力づくりを行うことで、地域のシンボル、観光名所の一つとなる公園とする。

(2) 再整備の取組み方針

1. 歴史の香りあふれるモミジとサクラを中心としかつてにぎわった景観の再生を図る。
 - ・本数を増加させたモミジとサクラの再生による公園の特徴強化
 - ・視点場の設定及び周辺の風景を取り込んだ印象的な景観スポットの創出
 - ・地域の歴史を再発見できる歴史情報の提供
2. 一年を通じて利用者を誘引する魅力づくりを行う。
 - ・モミジとサクラに加え年間通じて楽しめる花卉による景観づくり
 - ・イベントや祭りに対応できるスペースの整備
 - ・河川空間との一体的な空間整備による親水性の向上
3. 川沿いの特徴を活かした回遊空間の整備を行う。
 - ・四季折々の花の景観を楽しむ回遊空間の整備
 - ・川沿いを利用した健康増進のための回遊空間の整備
 - ・周辺の観光ルートと連動した歩行空間の創出
4. 幅広い世代が利用できる魅力ある公園整備を行う。
 - ・高齢者の散歩や自然と触れあえる交流を促す様な空間の整備
 - ・子供たちが安心して利用できる環境づくり、教育機関と連携した公園利用を支援する取り組みの推進
5. 安心して安全に利用出来る公園整備を行う。
 - ・誰もが安心安全に利用できるバリアフリーに対応した公園の整備
 - ・防犯対策や危険個所の改善
 - ・生活動線としての機能を確保（川沿いの公園通路）

-
6. 休憩施設や観光情報・サインなどのサービス機能を充実させる。
 - ・休憩施設やサイン等のおもてなし機能の拡充
 - ・地域の観光情報と連動した広域的な情報の発信
 - ・駐車場の確保
 7. 地域で守り育てる維持管理の仕組みづくりを構築する。
 - ・行政、住民、各種団体のパートナーシップ等、仕組みづくりによる地域参加型の維持管理

3-2-2. 植生・景観計画

(1) 景観整備

竜田川沿いは、園路から見て景観阻害の原因となっている樹木・生垣の適切な撤去及び間伐を行う。転落防止機能は見通し確保可能な景観柵へ変更するなど、安心安全で、かつ、開放的な親水景観を創出する。

また、広葉樹（ケヤキ等）を適度に植栽して、日照調整によるモミジの環境改善を図る。

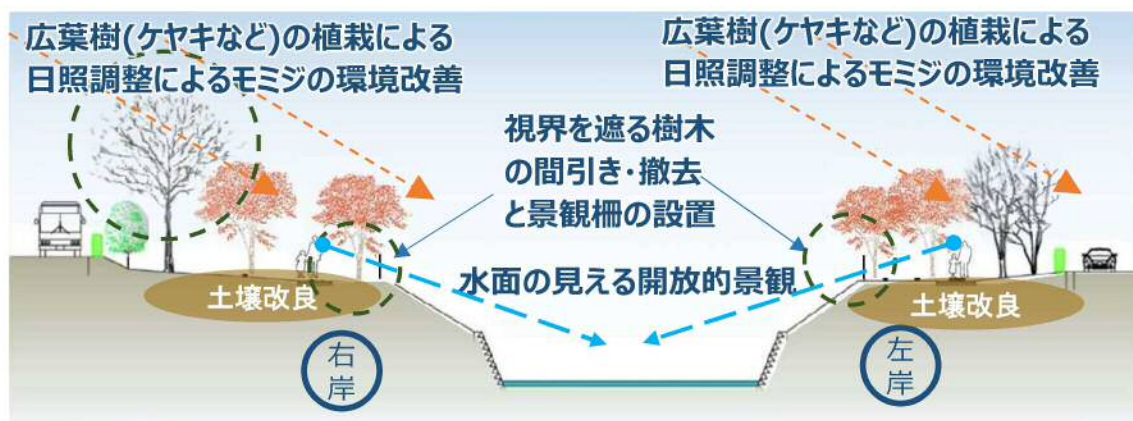


図3-1 竜田川沿いの景観形成図

(2) 視点場整備の検討

竜田を代表するモミジとサクラ等の自然景観等の良好な眺望を“見て、体感”できる視点場を整備する。

視点場は、モミジやサクラ等の自然景観に加えて、水面に移る四季の情景など、印象的なポイントを 11 か所設定した。

表 3-1 視点場選定結果

視点場 番号	備 考
①	主対象(信貴山・生駒山・矢田丘陵)が明確なため視点場として設定。 また、視点場である東屋と周辺にある案内板や五輪塔から歴史的風潮を味わうことができる。
②	主対象(街並み)が明確なため視点場として設定。 また、視点場である東屋と周辺にある案内板や五輪塔から歴史的風潮を味わうことができる。
③	主対象(竜田川)が明確なため視点場として設定。 また、春には周囲のサクラの美しい景観を楽しむことができる。
④	主対象(三室山)が明確なため視点場として設定。
⑤	主対象(矢田丘陵・堂山橋)が明確なため視点場として設定。
⑥	主対象(堂山橋・紅葉橋)が明確なため視点場として設定。 また、堂山橋を近くから見ることができ、水面に映る様子や周囲のモミジとの美しい景観を楽しむことができる。 写真スポットとしても期待できる。
⑦	主対象(紅葉橋)が明確なため視点場として設定。
⑧	主対象(堂山橋・三室山)が明確なため視点場として設定。
⑨	主対象(街並み・信貴山)が明確なため視点場として設定。
⑩	主対象(紅葉橋)が明確なため視点場として設定。
⑪	主対象(竜田川・周囲の木々)が明確なため視点場として設定。



図 3-2 視点場位置図(全体)

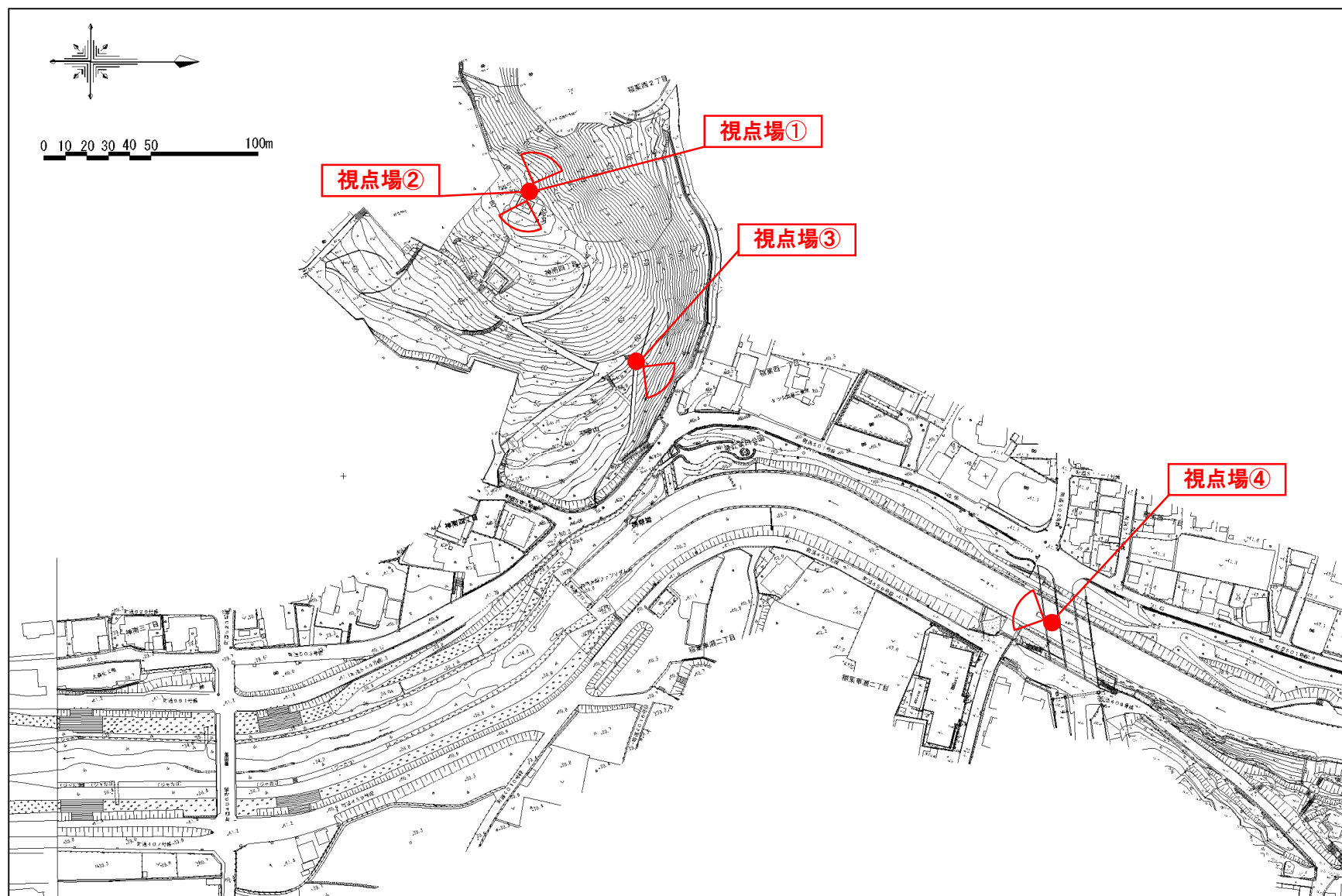


図3-3 各視点場の位置図(1/3)

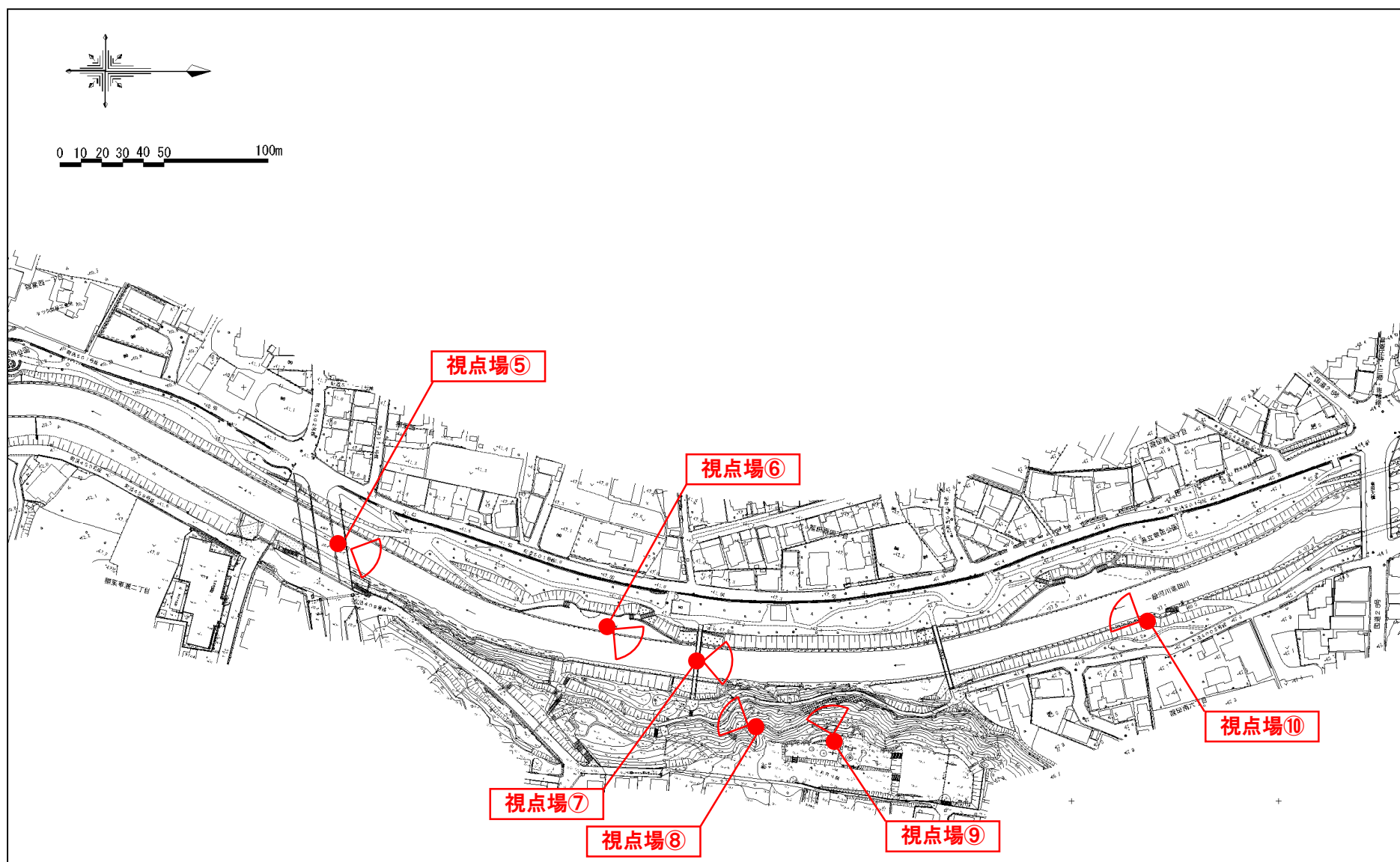


図3-4 各視点場の位置図(2/3)

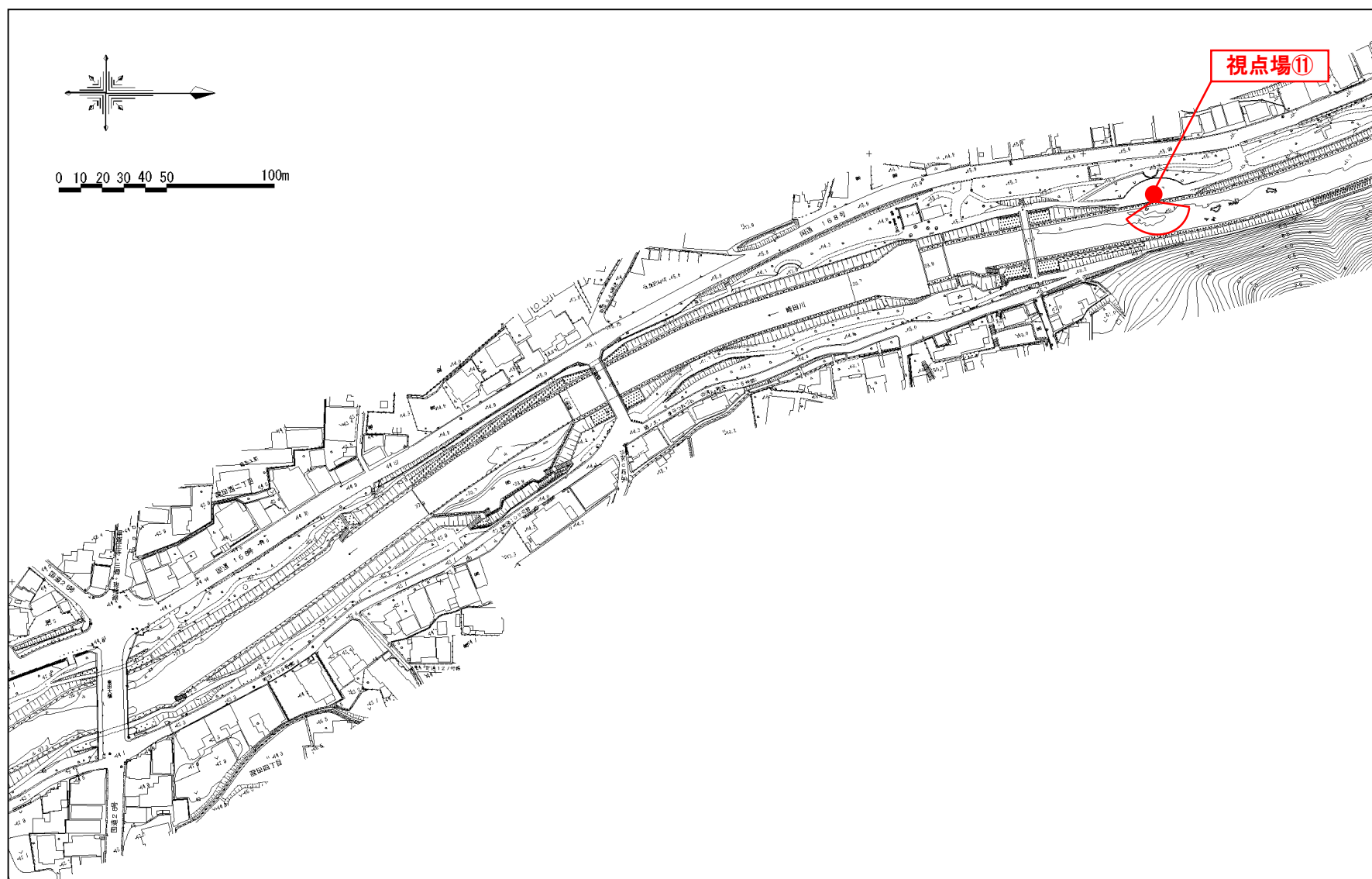
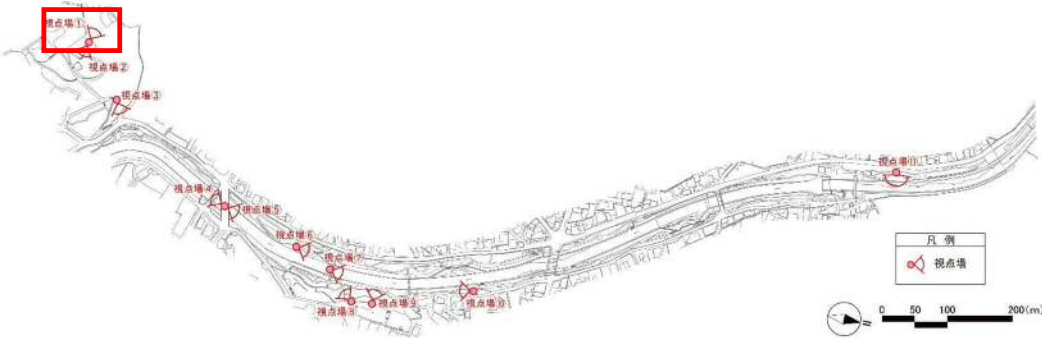
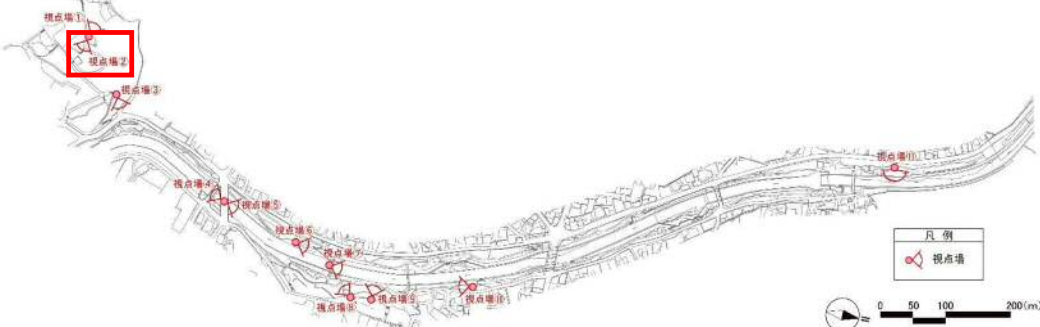
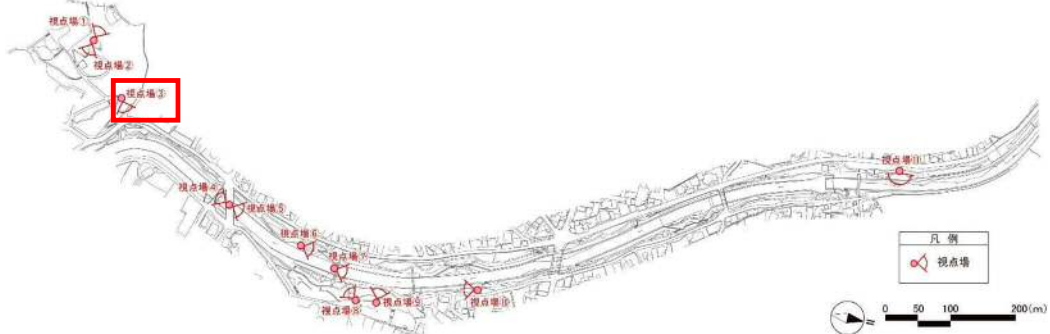


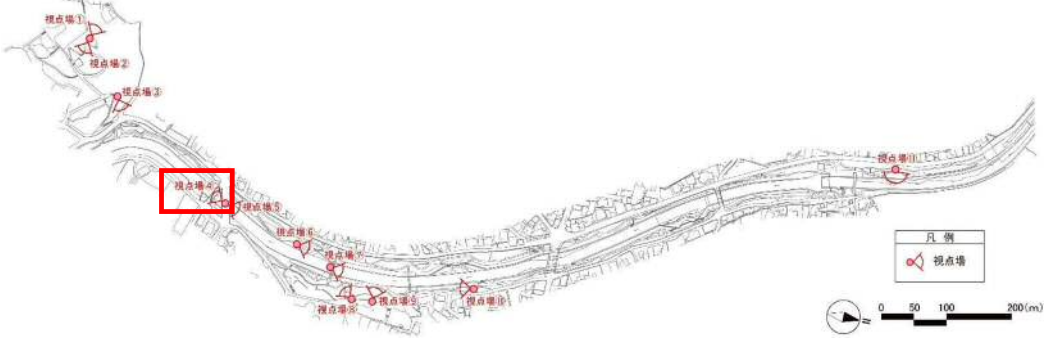
図3-5 各視点場の位置図(3/3)

1) 視点場の状況

視点場① 三室山からの景観(信貴山・生駒山・矢田丘陵方面)							
視点場からの見え(北西側)	 主対象(信貴山・生駒山・矢田丘陵)が明確なため視点場として設定。 また、視点場である東屋と周辺にある案内板や五輪塔から歴史的風潮を味わうことができる。						
周辺状況	 視点場となる東屋  東屋傍の案内板と五輪塔						
景観要素	・信貴山～生駒山～矢田丘陵(山並みを眺望するパノラマ景観が楽しめる) ・ソメイヨシノの天蓋(ソメイヨシノの生育により、サクラの開花期は花の天蓋を体感できる)						
課題点	<table border="1"> <tr> <td>・視界の確保、植栽景観の改善</td><td>三室山は、ソメイヨシノ等の落葉樹が主体であるため、落葉期はある程度の視界が開けるが、夏季は樹木が繁茂して眺望景観が阻害される状況にあるため老木の更新、間伐等の対策が必要</td></tr> <tr> <td>・位置情報の提供</td><td>来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要</td></tr> <tr> <td>・視点場の改修</td><td>視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要</td></tr> </table>	・視界の確保、植栽景観の改善	三室山は、ソメイヨシノ等の落葉樹が主体であるため、落葉期はある程度の視界が開けるが、夏季は樹木が繁茂して眺望景観が阻害される状況にあるため老木の更新、間伐等の対策が必要	・位置情報の提供	来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要	・視点場の改修	視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要
・視界の確保、植栽景観の改善	三室山は、ソメイヨシノ等の落葉樹が主体であるため、落葉期はある程度の視界が開けるが、夏季は樹木が繁茂して眺望景観が阻害される状況にあるため老木の更新、間伐等の対策が必要						
・位置情報の提供	来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要						
・視点場の改修	視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要						
視点場位置							

視点場② 三室山からの景観(斑鳩町市街地方面)		
視点場からの見え(南東側)	 主対象(街並み)が明確なため視点場として設定。 また、視点場である東屋と周辺にある案内板や五輪塔から歴史的風潮を味わうことができる。	
周辺状況	 視点場となる東屋  東屋傍の案内板と五輪塔	
景観要素	・ソメイヨシノの天蓋(ソメイヨシノの生育により、サクラの開花期は花の天蓋を体感できる) ・広大な盆地(斑鳩市の広大な盆地が眺望できる)	
課題点	・視界の確保、植栽景観の改善	三室山は、ソメイヨシノ等の落葉樹が主体であるため、落葉期はある程度の視界が開けるが、夏季は樹木が繁茂して眺望景観が阻害される状況にあるため老木の更新、間伐等の対策が必要
	・位置情報の提供	北側斜面は竹類が繁茂しており、伐採や定期的な維持管理が必要 来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要
	・視点場の改修	視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要
視点場位置		

視点場③ 三室山からの景観(竜田川方面)	
視点場からの見え	 主対象(竜田川)が明確なため視点場として設定。 また、春には周囲の桜の美しい景観を楽しむことができる。
周辺状況	 視点場  視点場の状況
景観要素	・河岸のサクラ(河川沿いの景観は、春季にはサクラが楽しめ、水面への映り込みが四季の風情を演出する) ・水面への映り込み(写真撮影のスポットとなる)
課題点	・植栽景観の改善
	・位置情報の提供
視点場位置	・護岸斜面の雑草対策が必要
	・来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要
視点場位置	・視点場の改修及び急傾斜地の安定化
	

視点場④ 岩瀬橋からの景観(三室山方面)	
視点場からの見え	 主対象(三室山)が明確なため視点場として設定。
周辺状況	 岩瀬橋(北方から南方への見え)  岩瀬橋の特徴
景観要素	・三室山のサクラの景観(河岸のサクラ並木から三室山へと続くサクラの景観は、サクラの名所を印象付ける) ・三室山へ続く河岸のサクラとモミジの並木(河川沿いの景観は、春季にはサクラが秋季にはモミジが楽しめるほか、植物の水面への映り込みも楽しめる) ・水面への映り込み(写真撮影のスポットとなる)
課題点	・位置情報の提供 来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要。
視点場位置	

視点場⑤ 岩瀬橋からの景観(矢田丘陵・堂山橋方面)

視点場
からの
見え



主対象(矢田丘陵・堂山橋)が明確なため視点場として設定。

周辺状況



岩瀬橋(南方から北方への見え)



視点場からの見え

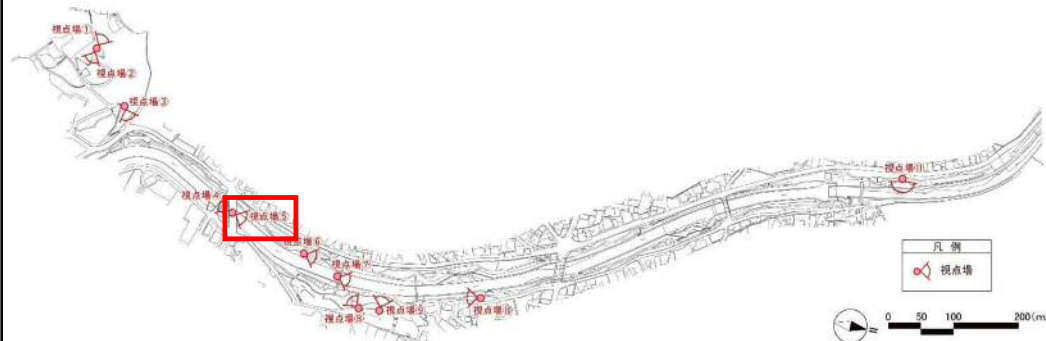
景観要素

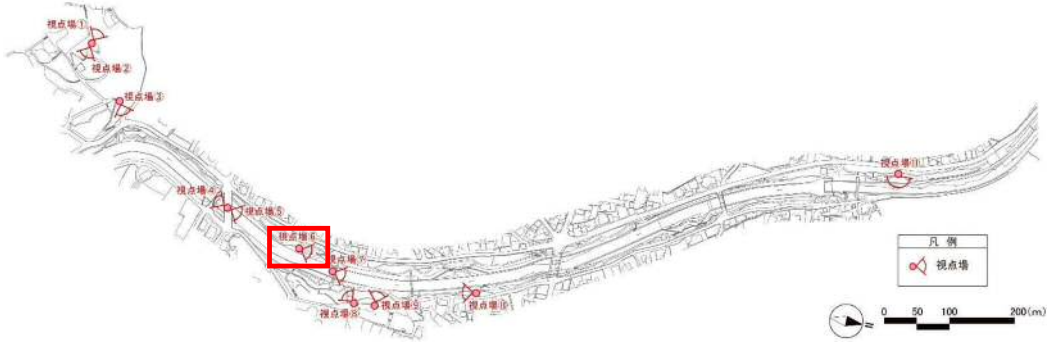
- ・堂山地区のモミジの景観(堂山地区と右岸のモミジが矢田丘陵へと続き、モミジの名所を印象付ける)
- ・堂山地区から矢田丘陵へ続く植栽の景観(堂山橋やモミジの水面への映り込みが楽しめる)
- ・堂山橋、紅葉橋、水面への映り込み(写真撮影のスポットとなる。)

課題点

- ・植栽景観の改善
- ・位置情報の提供
- 護岸斜面の雑草対策及び生垣への対策が必要
- 来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要

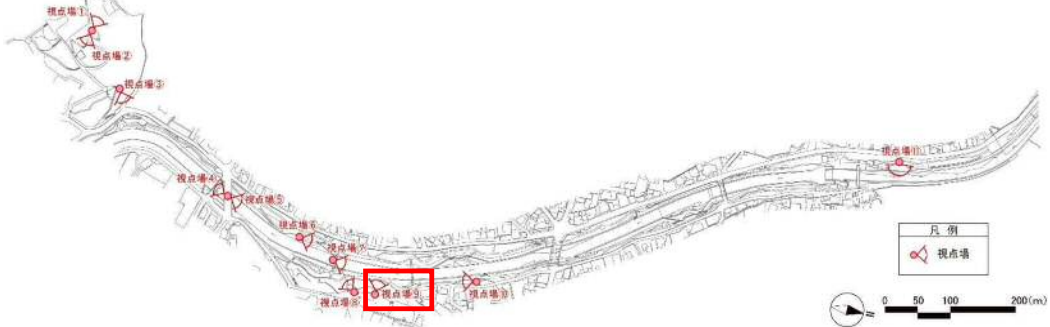
視点場位置



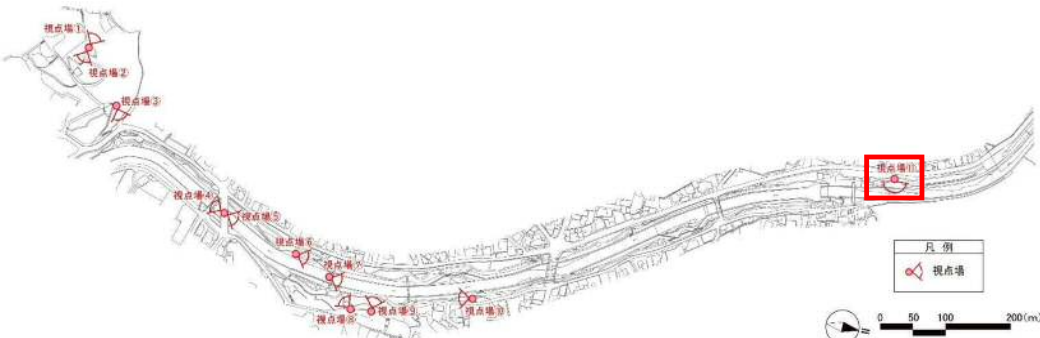
視点場⑥ 堂山橋下流側(竜田川右岸側)からの景観(堂山橋・紅葉橋方面)							
視点場からの見え	 主対象(堂山橋・紅葉橋)が明確なため視点場として設定。 また、堂山橋を近くから見ることができ、水面に映る様子や周囲のモミジとの美しい景観を楽しむことができる。 写真スポットとしても期待できる。						
周辺状況	 視点場  視点場の状況						
景観要素	・堂山橋(堂山橋やモミジの水面への映り込みが四季の風情を演出する) ・水面への映り込み(河川沿いの景観は、春季にはサクラが秋季にはモミジが楽しめる) ・河岸のモミジとサクラの並木(写真撮影のスポットとなる)						
課題点	<table border="1"> <tr> <td>・植栽景観の改善</td><td>護岸斜面の雑草対策及び生垣の対策が必要</td></tr> <tr> <td>・位置情報の提供</td><td>来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要</td></tr> <tr> <td>・視点場の改修</td><td>視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要</td></tr> </table>	・植栽景観の改善	護岸斜面の雑草対策及び生垣の対策が必要	・位置情報の提供	来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要	・視点場の改修	視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要
・植栽景観の改善	護岸斜面の雑草対策及び生垣の対策が必要						
・位置情報の提供	来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要						
・視点場の改修	視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要						
視点場位置							

視点場⑦ 堂山橋からの景観(紅葉橋方面)									
視点場からの見え	 主対象(紅葉橋)が明確なため視点場として設定。								
周辺状況	 堂山橋  視点場周辺の様子								
景観要素	・紅葉橋及び竜田川の水面(竜田川への紅葉橋の映り込みの景観が楽しめる) ・矢田丘陵へ続く河岸のモミジの並木(矢田丘陵の稜線へ繋がるモミジの連続する景観が楽しめる)								
課題点	<table border="1"> <tr> <td>・竜田川水面への視線確保</td><td>水面への景観を阻害する中木、生垣類の間伐等が必要</td></tr> <tr> <td>・植栽景観の改善</td><td>護岸斜面の雑草の定期的な維持管理が必要</td></tr> <tr> <td>・位置情報の提供</td><td>来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要</td></tr> <tr> <td>・視点場の改修</td><td>視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要</td></tr> </table>	・竜田川水面への視線確保	水面への景観を阻害する中木、生垣類の間伐等が必要	・植栽景観の改善	護岸斜面の雑草の定期的な維持管理が必要	・位置情報の提供	来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要	・視点場の改修	視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要
・竜田川水面への視線確保	水面への景観を阻害する中木、生垣類の間伐等が必要								
・植栽景観の改善	護岸斜面の雑草の定期的な維持管理が必要								
・位置情報の提供	来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置が必要								
・視点場の改修	視点場としての足場の整備・周辺環境の改修が必要								
視点場位置									

視点場⑧ 堂山地区からの景観(堂山橋・三室山方面)		
視点場からの見え	 主対象(堂山橋・三室山)が明確なため視点場として設定。	
周辺状況	 堂山地区上部広場  斜面地の状況	
景観要素	・堂山橋、竜田川の水面、三室山への眺望(モミジの樹間から堂山橋、水面、三室山を望む景観が楽しめる)	
課題点	・視界の確保	モミジと下草(ネザサ等)の繁茂により夏季は、視界が阻害されている為、定期的な刈込、枝打ち等の改善が必要
	・植栽景観の改善	樹木の間伐等により、視界の確保が必要
	・視点場への動線、広場確保	斜面地であるため、安全性を考慮した園路、小広場、休憩施設の整備が必要。
	・位置情報の提供	来訪者への位置情報を提供するサインの設置が必要。
視点場位置		

視点場⑨ 堂山地区からの景観(斑鳩町市街地方面・信貴山方面)	
視点場からの見え	 主対象(街並み・信貴山)が明確なため視点場として設定。
周辺状況	 木々が生い茂っている様子  視点場周辺の様子
景観要素	・モミジの景観、竜田の街並み、信貴山への眺望(モミジの景観と竜田の街並み、信貴山へのパノラマ景観が楽しめる)
課題点	・植栽景観の改善及び視界の確保 ・視点場広場の確保 ・位置情報の提供 モミジと下草(ネザサ等)の繁茂により夏季は、視界が阻害されている為、定期的な間伐等による視界の確保が必要。 視点場を明示する小広場、休憩施設の整備が必要。 来訪者への位置情報を提供するサインの設置が必要。
視点場位置	

視点場⑩ 竜田川左岸(紅葉橋上流側)からの景観(紅葉橋方面)		
視点場からの見え	 主対象(紅葉橋)が明確なため視点場として設定。	
周辺状況	 視点場の周辺状況	 視点場の様子
景観要素	・紅葉橋(竜田川への紅葉橋の映り込みの景観が楽しめる) ・竜田川の水面(モミジの樹間から川面が見える景観が楽しめる) ・モミジの景観(河川沿いの景観は、秋季にモミジが楽しめる)	
課題点	・視点場の改修	視点場としての足場の整備・周辺環境の改修及び隣接する住宅地と視点場の分離が必要
	・植栽景観の改善	雑草の定期的な維持管理が必要。
	・位置情報の提供	来訪者への位置情報を提供するサインの設置が必要。
視点場位置		

視点場⑪ 竜田川左岸(念仏橋周辺)からの景観(竜田川方面)	
視点場からの見え	 主対象(竜田川・周囲の木々)が明確なため視点場として設定。
周辺状況	 念仏橋  視点場の様子
景観要素	・竜田川の水面及びモミジの景観(左岸の自然林が背景となり、水面とモミジの景観が映える) ・左岸自然林の景観(自然林を一望するパノラマ景観を楽しめる。)
課題点	・竜田川水面への視界確保
	水面への景観を阻害する中木、低木類の間伐等が必要
	・植栽景観の改善
	モミジの植栽密度が高く、強弱のある植栽密度へ改善が必要
課題点	・位置情報の提供
	来訪者への位置情報を提供するサインの設置が必要
課題点	・視点場の改修
	上流側の景観への視点誘導を促すベンチや案内板の設置が必要
視点場位置	

(3) 各視点場における整備内容

各視点場での植栽整備・管理の手法と必要とする公園施設を下表に整理する。

表 3-2 各視点場における整備内容

視点場名称	植栽整備・管理手法		新たに必要とする施設・整備
視点場① 三室山からの景観（信貴山・生駒山・矢田丘陵方面）	・視界の確保、植栽景観の改善	・夏季における間伐及び老木の更新、竹類の伐採	—
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置	・解説サイン ・視点場表示サイン
	・視点場の改修	・雑草除去等による足場の整備及び周辺環境の改善	—
視点場② 三室山からの景観（斑鳩町市街地方面）	・視界の確保、植栽景観の改善	・夏季における間伐及び老木の更新、竹類の伐採	—
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置	・解説サイン ・視点場表示サイン
	・視点場の改修	・雑草除去等による足場の整備及び周辺環境の改善	—
視点場③ 三室山からの景観（竜田川方面）	・植栽景観の改善	・護岸斜面における雑草の定期的な除去	—
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置	・案内サイン ・視点場表示サイン
	・視点場の改修及び急傾斜地の安定化	・雑草除去等による足場の整備及び周辺環境の改善、斜面の安定化	・斜面对策（地山補強土工、落石防護工等）
視点場④ 岩瀬橋からの景観（三室山方面）	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置	・誘導サイン ・案内サイン ・視点場表示サイン
視点場⑤ 岩瀬橋からの景観（矢田丘陵・堂山橋方面）	・植栽景観の改善	・護岸斜面の雑草対策及び生垣への対策	—
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置	・誘導サイン ・案内サイン ・視点場表示サイン
視点場⑥ 堂山橋下流側（竜田川右岸側）からの景観（堂山橋・紅葉橋方面）	・植栽景観の改善	・護岸斜面の雑草対策及び生垣の対策	—
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置	・視点場表示サイン
	・視点場の改修	・雑草除去等による足場の整備及び周辺環境の改善	—
視点場⑦ 堂山橋からの景観（紅葉橋方面）	・竜田川水面への視線確保	・水面への景観を阻害する中木、生垣類の間伐	—
	・植栽景観の改善	・護岸斜面における雑草の定期的な除去	—
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報、景観情報を提供するサインの設置	・誘導サイン ・案内サイン ・視点場表示サイン
	・視点場の改修	・雑草除去等による足場の整備及び周辺環境の改善	—
視点場⑧ 堂山地区からの景観（堂山橋・三室山方面）	・視界の確保	・雑草除去とモミジ（夏季）の定期的な刈込、枝打ち	—
	・植栽景観の改善	・樹木の間伐	—
	・視点場への動線、広場確保	・斜面の安全性を考慮した園路、休憩施設の整備	・園路 ・ベンチ
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報を提供するサインの設置	・誘導サイン ・案内サイン ・視点場表示サイン

視点場名称	植栽整備・管理手法（案）		新たに必要とする 施設・整備
視点場⑨ 堂山地区からの 景観（斑鳩町市 街地方面・信貴 山方面）	・植栽景観の改善及び視界の確保	・雑草除去とモミジ（夏季）の定期的な刈込、枝打ち	—
	・視点場広場の確保	・休憩施設の整備	・ベンチ
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報を提供するサインの設置	・解説サイン ・視点場表示サイン
視点場⑩ 竜田川左岸（紅葉橋上流側）からの景観（紅葉橋方面）	・視点場の改修	・雑草除去等による足場の整備及び周辺環境の改善、隣接する住宅地と視点場の分離	・生垣の転落防止柵への変更
	・植栽景観の改善	・雑草の定期的な除去	—
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報を提供するサインの設置	・視点場表示サイン
視点場⑪ 竜田川左岸（念仏橋周辺）からの景観（竜田川方面）	・竜田川水面への視界確保	・水面への景観を阻害する中木、低木類の間伐	—
	・植栽景観の改善	・モミジの植栽密度が高く、強弱のある植栽密度へ改善	・モミジ育成に適した地盤改良 ・モミジへの日照調整を行う落葉広葉樹の植栽
	・位置情報の提供	・来訪者への位置情報を提供するサインの設置	・案内サイン ・視点場表示サイン
	・視点場の改修	・上流側の景観への視点誘導を促すベンチや案内板の設置	・ベンチ ・案内サイン

- ・誘導サイン：公園内の主要地区へ利用者を誘導するとともに、距離表示を付加したもの
- ・解説サイン：地区の歴史や眺望の解説を示したもの
- ・案内サイン：主要エリアへの入口となる場所にエリアの案内図及び公園全体の配置図を表示したもの
- ・視点場表示サイン：視点場の眺望景観や位置等を表示したもの

3-2-3.三室山の眺望空間の整備

(1) 眺望デッキの整備

視点場③へは眺望デッキを整備する。眺望デッキ案を以下に示す。

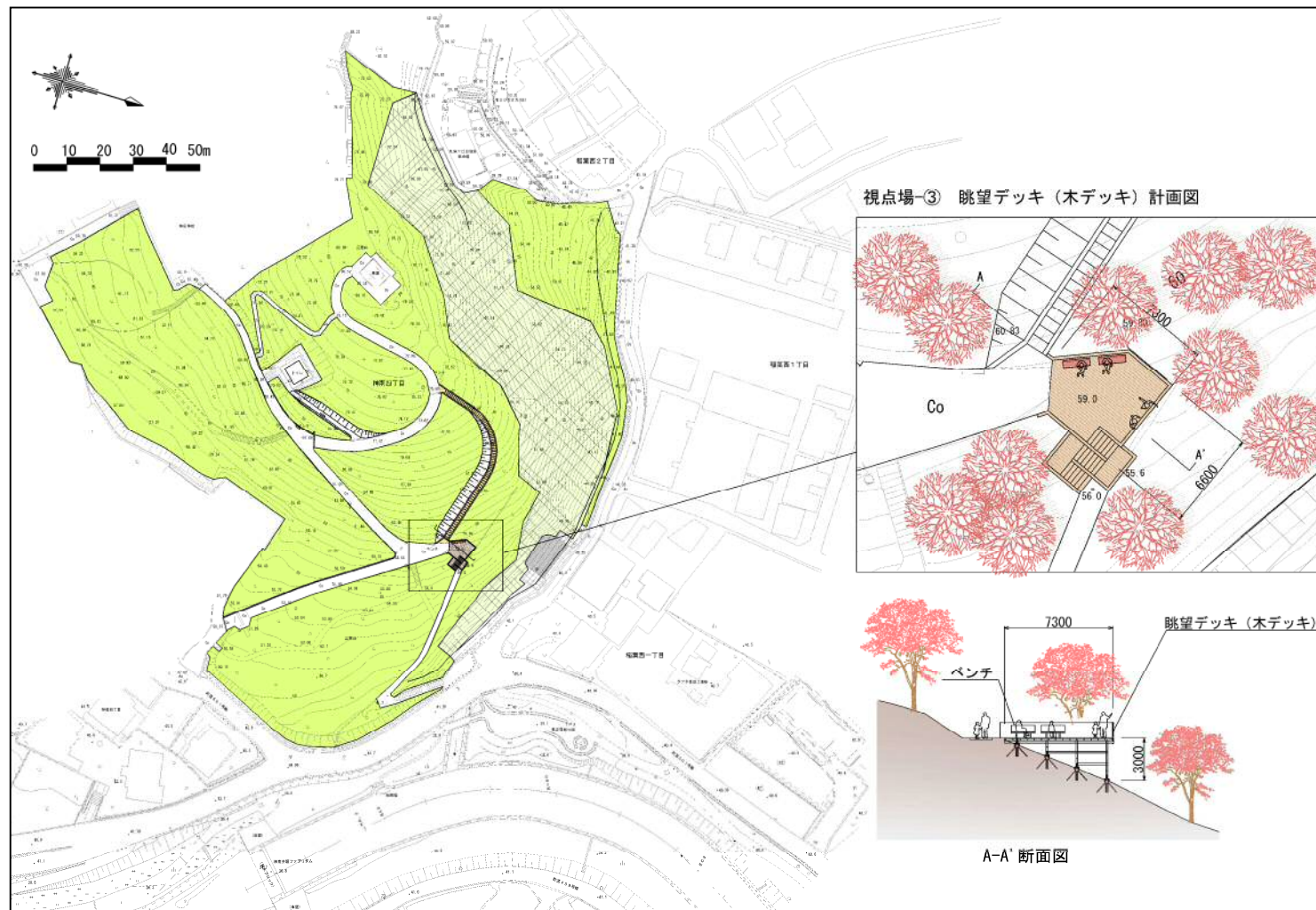


図3-6 三室山眺望デッキ(視点場③)計画図